

令和6年度 はじめての人（入門レベル）のための日本語教室 報告書

1. 事業概要

(1)趣旨

堺市では外国人市民への日本語学習支援は民間のボランティア団体等により行われており、外国人人口18,631人（令和6年4月末現在）のうち、延べ397人（令和6年4月1日現在）が市内16か所の日本語教室で日本語を学習している。平成29年度堺市外国人市民意識調査では、外国人市民の約半数が日本語学習を必要としないと答えており、この結果から日本語学習を必要とするのは外国人市民の半数程度だと考えても、そのうち約4%しか地域日本語教室に参加していないことになる。

このような現状から外国人市民の孤立を防ぐためにも、外国人市民の日本語学習の需要を掘り起こして地域の日本語教室につなぐことが必要であると考え、平成25年度より市主催で「はじめての人（入門レベル）のための日本語教室」を実施し、本教室で学習を終えた学習者を地域の日本語教室につなぐ形で事業を実施している。

また、本教室で採用しているマスターテキストアプローチによる学習支援及び場面会話、対話型活動の方法は、地域日本語教室でも活用できる手法と考えられることから、本教室を市内で活動する日本語ボランティアの実践研修の場と位置づけ、市内日本語教室で活動するボランティアに、プロの日本語教師の授業にアシスタントとして参加する機会を提供し、これらを体験しながら学ぶことにより、その習得及び地域日本語教室での活用を促す。

(2)実施スケジュール

検討会議を開催して昨年度事業の振り返り及び今年度事業の実施方法等について検討し、検討結果をもとに日本語教室を実施した。また、日本語ボランティア実践研修参加者（アシスタント活動者）の増加及び本教室で使用している教材『さかい de にほんご』の「つながるにほんご」を活用した学習支援法の普及を目的に「日本語ボランティア実践研修」に先駆けて、「日本語ボランティアスキルアップ研修」を実施した。すべての事業終了後に総括を行った。

<実施実績>

開催日時	項目	内容
8/19 10:00～12:00	検討会議 今年度事業実施方法の検討	1.実施方法検討 教室運営、授業進行、配付資料等
9/8 10:00～12:30 ※	日本語ボランティアスキルアップ研修	1.「つながるにほんご」の使い方及び コンセプトの紹介 2.「つながるにほんご」を活用した対話 型活動の方法など
9/17 14:00～16:30	日本語ボランティア実践研修 「事前研修－講義－」	1.「はじめての人のための日本語教室」 事業について 2.日本語教室のカリキュラムと内容 3.テキスト『さかい de にほんご』の構成 及び使い方 4.アシスタント活動の考え方とやり方
9/24 14:00～16:30	日本語ボランティア実践研修 「事前研修－講義－」	1.各活動の練習の流れと留意点 2.アシスタント活動の具体的な内容と留 意点 3.「やさしい日本語」について 4.「ばめんのにほんご」ロールプレイの 準備
10/4～11/29 火曜・金曜	日本語教室	火曜日：「つながるにほんご」 金曜日：「ばめんのにほんご」

<日本語教室運営メンバー>

役割	名前
アドバイザー	澤田 幸子（合同会社おおぞら日本語サポート）
講師	矢谷 久美子（日本語教育支援グループことのは）
講師	正多 宏美（一般財団法人海外産業人材育成協会）
アシスタント	市内日本語教室で3ヶ月以上の経験を持ち、事前研修を受けた者（11人）
事務局	堺市文化観光局文化国際部国際課

2. 日本語教室について

入門レベルの日本語能力の人々が、地域の人たちとの人間関係を構築できるようになること、及び地域社会に踏み出せるようになることを目的に日本語教室を実施した。

(1)実施実績

<日本語教室>

開講日時：令和6年10月4日（金）～11月29日（金）

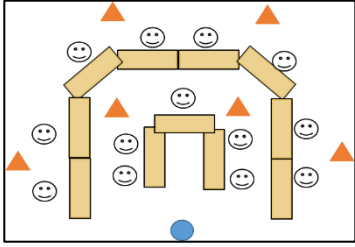
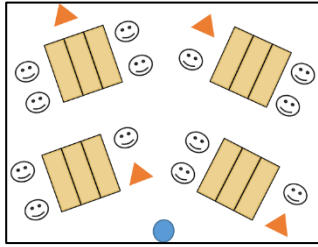
毎週火曜・金曜 14:00～16:00（全15回）

開講場所：堺市立多文化交流プラザ・さかい 会議室（大）

学習者数：16人（※国籍等詳細は、2.(2)学習者について 参照）

授業内容：各曜日の内容は下記の通り

（※全体カリキュラムは、[資料](#)1.日本語教室カリキュラム 参照）

	火曜日	金曜日（前半）	金曜日（後半）
授業形態	教室型レッスン	グループ型レッスン	グループ型レッスン
	 （凡例）● 講師【1人】 ▲ アシスタント【火曜6人、金曜4人】 😊 学習者【16人】		
テキスト	「つながるにほんご」 （堺市作成）	「ばめんのにほんご」 （堺市作成）	テキストなし
テーマ	自己表現のための日本語 ～習得～ （マスターテキストアプローチ）	地域社会へ踏み出す ための日本語 （場面会話）	自己表現のための日本語 ～実践～ （トピック会話）
内容	各課の登場人物の語り文を理解して覚え、その語り文を自分に置き換えて話せるように練習する。同時に、語り文に出てくる文法事項を習得する。	「駅での会話」や「病院での会話」など、日常生活で出会う場面を使って会話練習を行う。また、最後に一人ずつロールプレイを行う。	学習者とアシスタントの混成グループになり、火曜日に学んだ内容と連動したテーマで日本語による交流を行う。

<その他行事>

イベント名：ごみの出し方講習会

実施日時：11月12日（火）

参加者数：11人

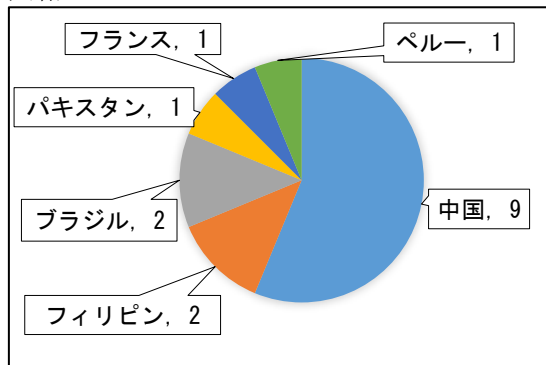
実施内容：通訳を入れて本市資源循環推進課職員による講習会を実施

(2)学習者について

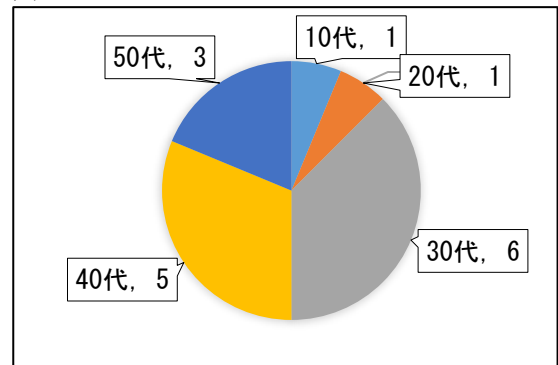
- ・ 8カ国 19人の応募があり、6カ国 16人が参加した。
- ・ 参加者の多くが仕事をしておらず、また半数程度が来日半年以内の方だった。
- ・ 最終継続者は12人で、うち10人が80%以上の出席率で修了した。

<内訳（全16人）>

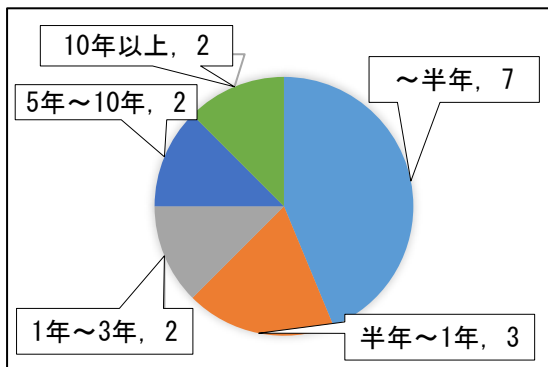
国籍



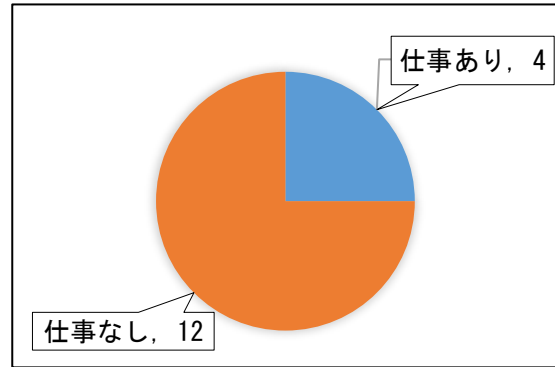
年代



滞日年数



仕事の有無



(3)学習者アンケートについて（※詳細は、[資料2.学習者アンケート](#) 参照）

- ・ 初回アンケートには16人が回答した。多くの人が参加理由として「日常生活に必要」と回答し、「日本人と交流したい」「仕事を見つけない」がそれに続いた。また、日本語を話せるようになったら、「毎日の生活で話したい」と多くの人が回答したが、「こどもの学校で先生と話したい」と答えた人も多かった。
- ・ 最終アンケートには12人が回答した。回答者全員が「参加してよかった」と回答し、多くの人がその理由として「楽しかった」をあげた。また、「習った日本語を使って外で実際に話したか」には全員が「はい」と答え、「買い物をするときに話した」に続き、「友達と話した」「こどもの学校で先生と話した」が回答としてあがった。

3. 日本語ボランティア実践研修

入門レベルの日本語能力の人々が学ぶ日本語教室を実践研修の場と位置づけ、入門期の

日本語学習者に対する話し方や接し方、学習支援の方法を実践的に学ぶ機会とした。また、本教室の教材「つながるにほんご」で採用しているマスターテキストアプローチによる学習支援や「ばめんのにほんご」を活用した場面会話、対話型活動の方法などを体験しながら学ぶことにより 1 対複数での日本語学習支援法を習得し、学習者の増加やボランティアの高齢化等でボランティア不足に悩む教室での活用を促すこともめざした。

(1)実施実績

開講日時：

＜a. 事前研修＞

令和 6 年 9 月 17 日（火）、令和 6 年 9 月 24 日（火）14:00～16:30（全 2 回）

＜b. 実践研修－授業にアシスタントして従事－＞

令和 6 年 10 月 8 日（火）～令和 6 年 11 月 29 日（金）のうち、各人、毎週火曜・金曜のうち、指定された 4～10 日

13:50～16:20（打合せ・振返りの時間を含む）

〔火曜日は 6 人、金曜日は 4 人が従事したが、原則として、金曜日の従事者は、同一週の火曜日に従事した者の中から 4 人を従事者として指定した〕

開講場所：堺市立多文化交流プラザ・さかい

受講者数：11 人（市内日本語教室等で活動している日本語ボランティア）

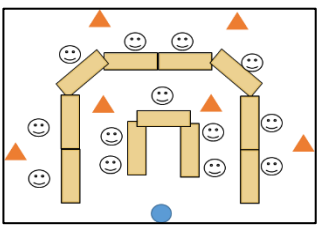
(2)研修内容

＜a. 事前研修＞

	内容
1 回目	1. 「はじめての人のための日本語教室」事業について 2. 日本語教室のカリキュラムと内容 3. テキスト『さかい de にほんご』の構成及び使い方 4. アシスタント活動の考え方とやり方
2 回目	1. 各活動の練習の流れと留意点 2. アシスタント活動の具体的な内容と留意点 3. 「やさしい日本語」について 4. 「ばめんのにほんご」ロールプレイの準備

＜b. 実践研修－授業にアシスタントとして従事－＞

- | | |
|---------------|---|
| 1. 打合せ（10 分） | その日の授業のポイントを確認 |
| 2. 授業参加（2 時間） | 講師の指示を受けてアシスタント活動 |
| 3. 振返り（20 分） | <div style="display: inline-block; vertical-align: middle;"> 担当学習者の様子を全体で共有
 活動中の疑問点等を講師に質問
 引き継ぎシート記入 </div> |

曜日	配置	内容
火曜日		・学習者の後ろに待機し、講師の指導法を観察しながら、入門期の学習者に対する話し方や接し方、マスターテキストアプローチによる学習支援法を学ぶ。 ・戸惑っている学習者の補助や学習者同士の練習の補助、練習相手をしながら、学習者のことばの習得過程を学ぶ。

金曜日 (前半)		・場面会話の進め方や練習の仕方などを学ぶ。 ・グループ内で学習者の補助や練習相手をし、学習者にとって難しいことは何か、どうすれば分かりやすくなるのかなどについて学ぶ。
金曜日 (後半)		・講師の決めたテーマに沿ってグループで交流を進めることにより、入門期の学習者との対話型活動の方法や留意点を学ぶ。

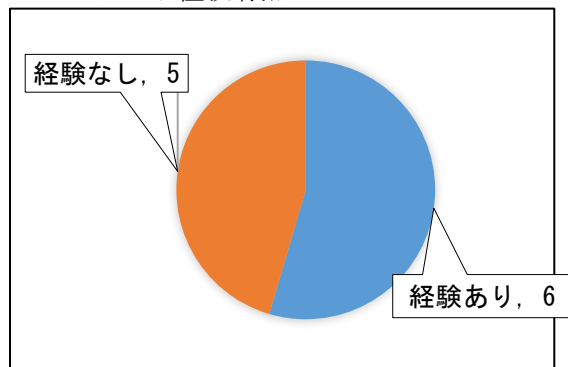
(凡例) ● 講師【1人】 ▲ アシスタント【火曜6人、金曜4人】 😊 学習者【16人】

(3)アシスタントについて

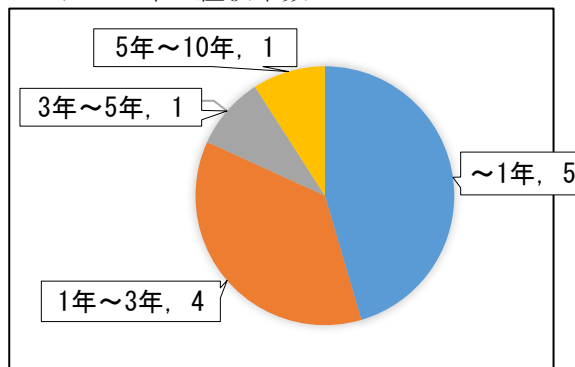
- ・ 市内全 16 教室のうち 6 教室 11 人が参加した。
- ・ 地域日本語教室での活動年数が 3 年未満の方が 9 人にのぼった。

<アシスタント内訳>

アシスタント経験有無



ボランティア経験年数



(4)アシスタントアンケートについて

(※詳細は、[資料3](#).アシスタント最終アンケート 参照)

- ・ 最終アンケートには 10 人が回答し、応募の動機として「入門期の学習者とのコミュニケーション法や活動のコツを学びたい」「プロの先生の授業を見たい」と多くの方が回答した。
- ・ 全員が「参加してとてもよかった」または「よかった」と回答し、理由として「学習者へのアプローチの方法やテキストの使い方が分かった」、「様々な外国の人や他の教室の人たちとふれあい、良い情報を得ることができた」などがあがった。また、採用している教材や活動について、参加したほとんどの人が「学習者にとって良かった」、「今後、自身の活動に活かせる」と回答した。
- ・ 事業全体を通じた意見と感想として、「すごく良い勉強になった。いろいろなことに挑戦しようと思っ出てきた」、「先生の指導がとても勉強になることもさることながら、他の地域の日本語教室の方たちとお話ができ、それぞれの教室の様子や工夫などを聞くことができたのもよかった」などがあがった。

4. 成果と課題

(1)成果

- 2. 日本語教室にあるように、本教室は本市作成教材を使用し、独自の内容や流れで授業を進めているが、これまで学習者には教材のコンセプトや活動の狙い、授業の流れなどを口頭で説明していなかった。しかし、マスターテキストアプローチを採用している「つながるにほんご」など、学習者が初めの段階では狙いを理解できず、やり方に慣れるまでに多少の時間を要していたことから、初回ガイダンスで教材の構成やコンセプト、活動の狙いを通訳を入れて伝えた。これにより、学習者は初めから集中して練習に取り組むことができるようになり、マスターテキストアプローチの特徴である繰り返しの練習にも熱心に取り組むことができるようになった。
- 昨年度、金曜日に実施のトピック会話において、アシスタントから学習者とのおしゃべりを悩む声があがっていた。トピック会話はこれまで授業当日に講師が授業内で指示を出し活動を進めてきた。しかし、この方法ではグループを引っ張るアシスタントも学習者と同じスタートとなり、会話をリードすることが難しかったと考えられる。そこで、今年度は火曜日の振返り時に金曜日のトピック会話の内容をアシスタントに伝えた。これによりアシスタントも事前に活動の準備ができるようになり、最終アンケートでもおしゃべりを悩む声はなかった。
- 本教室では、3. 日本語ボランティア実践研修にあるように、研修の目的の一つとして1対複数での学習支援法の習得をあげているが、活動や練習が1対1になり他の学習者が置き去りになってしまうことが課題だった。このため、今年度は事前研修や授業の事前打合せ、振返り等で機会あるごとに1対複数での活動や練習のコツを講師から伝えた。おかげで、今年度は活動も練習もグループで取り組むことができ、また、アシスタントの最終アンケートでも回答者全員が1対複数の支援法を学べたと回答した。

(2)課題

- 本教室では、事業終了後の学習者を地域日本語教室につなぐことを目的の一つとしており、第11回と第12回の間に地域日本語教室の情報を職員から伝える時間を設けている。しかし、情報提供が地域日本語教室の開催場所や時間を示した一覧MAPの見方の案内にとどまっており、個別に学習者の希望を聞く時間は設けられていなかった。来年度はアシスタントにも協力を依頼し、個別に希望を聞きながら対応できるよう考えていきたい。
- アシスタントより、事業終了後のフォローアップ研修の開催を望む声があった。アシスタント活動では、毎回事前打合せや事後振返りを行い、疑問点はその都度解決できるようにしているが、本教室を離れた後に疑問点や聞きたいことが出てくることは想像に難くない。研修の開催までは難しいかもしれないが、毎年行っているアドバイザー及び講師との総括会議の開催日を利用するなど、事業終了後にアシスタントが講師と話せる機会をつくれないうか検討したい。

資 料

1.日本語教室カリキュラム

	日にち	テーマ	Can do
1	10/4(金)	初日ガイダンスと簡単な自己紹介	—
2	10/8(火)	「つながるにほんご」 —1 課 はじめまして—	・簡単な自己紹介ができる ・簡単に家族が紹介できる
3	10/11(金)	「ばめんのにほんご」 —今日は休みます—	・電話の相手呼び出してもらうことができる ・理由を言って、欠席の連絡ができる
		トピック会話 —わたしはこんな人—	・自己紹介。クラスメートに自分を知ってもらう
4	10/15(火)	「つながるにほんご」 —2 課 目玉焼きが好きです—	・好きな食べ物、スポーツなどが言える
5	10/18(金)	「ばめんのにほんご」 —京都までいくらですか—	・行先までの値段や乗り場が聞ける ・乗る電車を確かめることができる
		トピック会話 —わたしの好きな物—	・スポーツ、音楽、アニメなどいろいろな分野で好きなものを話す
6	10/22(火)	「つながるにほんご」 —3 課 毎朝、6時半に起きます—	・1日の生活を時間の流れに沿って言うことができる
7	10/25(金)	「ばめんのにほんご」 —これをください—	・売り場の場所が尋ねられる ・サイズや色の希望が言える ・店員のセールストークをうまく遮ることができる
		トピック会話 —わたしの1日—	・起きる時間や寝る時間、休みの日にすることなど、身近な生活について話す
8	10/29(火)	「つながるにほんご」 —4 課 友達と晩ご飯を食べました—	・簡単な感想が言える
9	11/1(金)	「ばめんのにほんご」 —ここに行きたいんですが—	・路上で行き先を伝え、道を尋ねることができる ・確認しながら相手の説明が聞ける
		トピック会話 —店—	・よく行く店、○○を買う店、食事に行く店などについて話す
10	11/5(火)	「つながるにほんご」 —5 課 いっしょに見に行きませんか—	・誘いを受けて、時間や会う場所を決めることができる ・相手の申し出を辞退することができる
11	11/8(金)	「ばめんのにほんご」 —かばんを忘れたんですが—	・忘れ物を届け出ることができる ・物の特徴を簡単に説明することができる
		(交流会)	—
-	11/12(火)	ごみの出し方講習会 / 市施策及び市内日本語教室案内	
12	11/19(火)	「つながるにほんご」 —6 課 買い物に行きました—	・場所の様子が描写できる ・物の特徴が言える
13	11/22(金)	「ばめんのにほんご」 —どうしましたか—	・受付で初診の手続きができる ・症状が簡単に説明できる
		トピック会話 —買い物—	・レシートを使って、買ったものや食べたものなどについて話す
14	11/26(火)	「つながるにほんご」 —7 課 ベトナムに住んでいます—	・家族の仕事や性格、特技等が言える
15	11/29(金)	トピック会話 —家族—	・家族の写真やファミリーツリーを見ながら、家族について話す
		発表会・修了式	—

2. 学習者アンケート

(1) 初回アンケート (16 人分)

1. 「はじめての人 (入門レベル) のための日本語教室」をどのようにして知ったか

- 人から聞いた (10)

友だちから	家族から	学校の先生から	その他
4	1	2	3

(その他) ハローワーク(1)、市役所(2)

- チラシを見た (6)

市役所・区役所	病院	教会	店	その他
5	0	0	0	1

(その他) 多文化交流プラザ・さかい(1)

- インターネットを見た (2)

堺市 HP	フェイスブック	その他
1	0	1

(その他) インスタグラム(1)

- その他 (0)

2. 日本語教室に参加した理由

日常生活に必要	仕事を見つけない	会社や学校で必要	家族や友達にすすめられた	日本人と交流したい	その他
13	5	2	0	7	1

(その他) 明るい未来のために(1)

3. 日本語が話せるようになったら、いつ・どこで・誰と話したいか

- 毎日の生活で (14)

家族と	近所の人と	その他
10	8	3

- 町で (9)

人に道を尋ねるとき	買い物をするとき	電車・バスに乗るとき	その他
5	6	8	2

- 会社で (9)

同僚と	上司と	その他
7	5	0

- (自分の) 学校で (5)

先生と	先輩と	友だちと	その他
3	2	2	0

- (子どもの) 学校で (12)

先生と	友だちと	その他
11	7	2

- 病院で (11)

- 市役所で (13)

住民票や証明書などを もらう時	子どもの保育所や学 校の申込の時	健康保険や税金など の相談をする時	その他
7	4	6	2

- その他 (3)

自分の向上のために(1) ニュースを読むため(1)

(2)最終アンケート (12 人分)

1. 授業の回数 (15 回) はどうだったか

もっと多い方がよかった	ちょうどよかった	もっと少ない方がよかった
7 [20 回(1)、25 回(1)]	5	0

2. 授業は、1 週間に 2 回だったが、どうだったか

もっと多い方がよかった	ちょうどよかった	もっと少ない方がよかった
4 [2.5 回/1 w(1)]	8	0

3. 火曜日と金曜日の午後 2 時～4 時は、参加しやすかったか

はい	いいえ
12	0

4. 授業に参加しやすい曜日と時間帯

平日午前	土曜日午前	日曜日午前
3 [10-12(1)]	3	0
平日午後	土曜日午後	日曜日午後
9 [13-15(1),14-(1), 14-16(3)、14-17(1)]	5 [13-15(1)]	2
平日夜	土曜日夜	日曜日夜
1 [17-19(1),18-20(1)]	1	1

5. 「日本語教室」に参加してどうだったか

良かった	まあまあ良かった	悪かった
12	0	0

6. 5 の答えの理由

楽しかった	友達ができた	日本人とたくさん話せた	授業の内容が良かった	日本語が前より分かるようになった
11	8	5	8	8
楽しくなかった	授業がよくわからなかった	もっとたくさん話したかった	授業の内容が良くなかった	その他
0	0	2	0	1

7. 教科書について

(1-1) 教科書「つながるにほんご」はどうだったか

やさしかった	少しやさしかった	ちょうどよかった	少し難しかった	難しかった
2	1	10	0	0

※1名「やさしかった」と「ちょうどよかった」の2つに○

(1-2) 教科書「つながるにほんご」で、1回に勉強することばや文法は少なかったか、多かったか

少なかった	少し少なかった	ちょうどよかった	少し多かった	多かった
0	2	9	0	1

(2-1) 教科書「ばめんのにほんご」でどの場面が役に立つか(場面の順位づけ)

①今日は休みます	②京都までいくらですか	③これをください
1...0人、2...3人、3...2人 4...2人、5...2人、6...3人	1...2人、2...1人、3...2人 4...2人、5...5人、6...0人	1...3人、2...1人、3...2人 4...2人、5...2人、6...2人
④ここに行きたいんですが	⑤かばんを忘れたんですが	⑥どうしましたか。
1...5人、2...2人、3...1人 4...1人、5...0人、6...3人	1...2人、2...3人、3...4人 4...1人、5...1人、6...1人	1...2人、2...3人、3...1人 4...3人、5...1人、6...2人

(2-2) ①～⑥以外で、勉強したい場面があるか

タクシーに乗って行き先を言う	銀行でお金をおろす	市役所の受付で窓口を尋ねる	レストランで注文する
3	4	10	5
出前を頼む	美容院で髪を切る	その他	
3	8	2	

(その他) 外国人が支援を受ける方法を紹介する(1)

8. 日本語教室で勉強した日本語を使って、実際に日本人と話したか

はい	いいえ
12	0

はい → 誰とどのような場面で話したか

家族と	近所の人と	友達と	会社で同僚と	会社で上司と
3	2	6	2	0
子供の学校で先生と	欠席連絡をする時	電車・バスに乗る時	買い物をする時	人に道を尋ねる時
5	3	3	7	3
病院で	郵便局で	市役所で	その他	
2	2	2	1	

いいえ → その理由

機会がなかった	機会があったが、話せなかった	まだ自信がない	その他
0	0	0	0

9. 今後、市内の日本語教室で勉強するか

はい	いいえ
12	0

⇒ (はい) どの教室で勉強するか

- ・ ふれあい日本語サロン (月曜) (5)
- ・ ふれあい日本語サロン (土曜) (2)
- ・ とが交流会(1)

⇒ (いいえ) その理由 (「いいえ」にチェックはないが、選択肢にチェックあり)

- 行きたい時間に教室がない(1)

10. その他、感想や意見

- お世話になりました。
- わたしは たのしかった ほんとうにありがとう!!
- Gracias! (ありがとう)

3. アシスタント最終アンケート (10 名分)

1. 所属日本語教室 (複数回答)

ふれあい日 本語サロン	堺外国人日 本語クラブ	フレンズ	エンジョイに ほんご	とが交流会	にほんご堺 東
5	2	2	1	1	1

2. アシスタントに応募した動機 (複数回答)

募集を見て	所属教室で案内 されて	経験者から聞いて	継続して学びたい	プロの日本語教師の授業を見たい
3	5	0	2	6
入門期の学習者とのコミュニケーション法や活動のコツを学びたい	場面会話を学びたい	対話型活動を学びたい	グループ交流を学びたい	その他
7	2	2	1	0

3. アシスタント活動について

(3-1) アシスタントとして参加してどうだったか

とてもよかった	よかった	普通	あまりよくなかった	よくなかった
7	3	0	0	0

【評価の理由】

とてもよかった

- 新しい発見があります。
- 初歩の人の教え方が分かったから。
- 教師の授業を見ることができ、学習者とのやりとりが体験できた。
- 去年に引き続きお世話になりました。ボランティアとしてまだ日も浅く、所属教室では手探りで学習で相変わらず自信が持てません。先生方の学習者に対する指導や接し方は本当に勉強になります。また学習者の方が回を重ねるごとに積極的になり、日本語を学ぶ姿勢が変化していくのを見ると嬉しくなります。先生方のようにうまく接することは難しいですが、毎年参加させていただくことで少しでも身につけることができていると思います。
- 様々な外国の人や、他の教室の人達と触れ合い、良い情報を得ることが出来た。
- 学習者の人たちがどんどんレベルアップしていくのを見るのは感動的でしたし、自分自身がそのお手伝いが出来たことを嬉しく思いました。去年も参加させていただき、プロの先生から多くを学ばせていただきましたが、その後「つながるにほんご」でのボランティア活動を進めていくうちにどこか自己流になっていたように感じました。基本的な指導方法があったとしても、学習者の人たちに合わせながら臨機応変に対応

することも大切だと感じる事が出来ました。また、プロの先生の授業の盛り上げ方や気配りが素晴らしく、参考にさせていただきたいことばかりでした。

- ・ 最初の週と最後の週に参加したので、学習者それぞれの成長を感じることができました。

よかった

- ・ 学習者へのアプローチの方法やテキスト『さかい de にほんご』の使い方などを学ぶことができた。
- ・ 日本語教師の指導方法が参考になり良かった。
- ・ 眠っていた脳を刺激してくれた

(3・2)この日本語教室は、皆さん（アシスタント）にとって、

①入門レベルの学習者への指導法や1対複数の支援法などを学ぶ場となったか

はい	いいえ
10	0

②他の日本語教室のボランティアとの情報交換の場となったか

はい	いいえ
7	3

③プロの日本語教師とのつながりの場となったか

はい	いいえ
8	2

(3・3)今後、所属されている教室の仲間や知り合いにアシスタント活動を勧めたいと思うか

はい	いいえ	無回答
9	0	1

【その理由】

はい

- ・ 入門レベルの学習者への支援に役立つと思ったから。
- ・ いろいろな教育方法を経験してもらいたい。
- ・ いろいろな活動内容を知るチャンスとなる。
- ・ 初歩の人への教え方が分かるから。
- ・ 他のボランティアの方や教師と話す時間がほとんどなかった。
- ・ 先ほどと重複しますが、所属教室ではボランティアが学ぶ場がなく、せっかく新しいボランティアさんが来ても不安が大きいのが現状です。アシスタント活動はプロの先生方の指導方法を学ぶ貴重な場だと思います。
- ・ いつもとは異なる場所で、いつもと違う学習者に会い、プロの先生の授業にかかわる事で、自分の視野が広がり、今までより自信が付くので、是非勧めたいと思いました。
- ・ 『つながるにほんご』の指導はテキストの解説を読むだけでは型にはまったやり方になってしまい、学習者が楽しく学ぶことが出来なくなる可能性もあります。また、慣れてくるうちにいつのまにか自己流になってしまい、それに気が付かないまま進めてしまうこともあります。これでは、学習者の様子や学習状況を把握出来なくなるかもしれません。このアシスタント活動はプロの先生の教え方、進め方、また学習者への気配りなどを学ぶことが出来る大切な機会だと思いますので、教室の仲間にはぜひ勧めたいと思います。
- ・ スキルアップだけでなく、人間的に成長できるので。

無回答

- グループ交流が良かったため

4. この日本語教室や教材、活動について

(4-1)この日本語教室は、入門レベルの学習者にとって地域や地域日本語教室に踏み出す前の段階として有効だと思うか

はい	いいえ
10	0

(4-2)「つながるにほんご」(火曜日の授業)について

①「つながるにほんご」の内容や進め方は学習者にとってどうだったと思うか

よかった	どちらともいえない	よくなかった
9	1	0

【その理由】

よかった

- 学習者の日常生活につながる内容だったと思うから。
- いきなり文を話すことに疑問を持っていましたが、できるものだといつも感心しています。
- 短期間で効果が出ています。
- 何度も先生が生徒に話して理解させようとしたから。
- 文字に頼らないのが良いと思う。
- フレーズで覚えるのは、私たちが英語をフレーズで覚えるのと同じかなと思いました。まず一言目を日本語で声かけできれば、困りごとの解決だけでなく、日本人とのコミュニケーションの第一歩になると感じています。
- 先生の話し方や表情がとても良く、学習者は分かりやすかったと思います。自己紹介や1日の生活の流れ等、誰もが必要な内容を楽しく学習出来ました。
- 授業のポイントや目標がとてもわかりやすく、自然な日本語をイラストを見ながら、またテキストを読みながら何度も聞いて真似をする時間が設けられ、学習者自身も自分のレベルアップを実感出来たのではないかと思います。また学習者の達成感ややる気を上げるべく先生がうまく盛り上げていらっしゃるなど素晴らしい、とても勉強になりました。テキストの内容は学習者が話す機会があるような身近な内容で、実際に使えることができれば更に学習者の自信につながると思います。また、学習者たちの進度やキャラクターなどをよく考えられたペア作りで、毎回違うペアに変えられていたのはとても良かったと思います。
- 身近な内容が多く、インプットしやすかったです。

どちらともいえない

- 世の中の変化がはやく、学習者をとりまく生活環境もどんどん変わっている中でのテキストの例示を選ぶのは大変ですね。

②「つながるにほんご」やその活動方法は、今後のご自身の教室活動に活かそうか

はい	いいえ	?
9	0	1

(4-3)「ばめんのにほんご」(金曜日前半の授業)について

①「ばめんのにほんご」の内容や活動は学習者にとってどうだったと思うか

よかった	どちらともいえない	よくなかった	参加していない
7	0	0	3

【評価の理由】

よかった

- ・ 実際に電車内に忘れ物をした人、体の具合が悪くなった人がこの内容を喜んでいました。
- ・ 自分の気持ちを何とか表現しようとする努力がすばらしかった。
- ・ 具体的な場面を想定しているので、言葉が覚えやすい。
- ・ 発話につながることば（フレーズ）と場面が具体的につながる。
- ・ 日本語のいいです、すみません、の使い方や、実際遭遇しそうな場面の練習になると思いました。
- ・ ロールプレイを行う事で、その時の場面の雰囲気が分かりやすかったと思います。数名の学習者がひねりをきかせた回答をしてくれたり、しっかり理解してくれていました。
- ・ 日常生活で必要なトピックが多く取り上げてあった。

②「ばめんのにほんご」やその活動方法は、今後のご自身の教室活動に活かそうですか

はい	いいえ	参加していない
7	0	3

(4-4) トピック会話（金曜日後半の授業）について

①トピック会話の内容や活動は学習者にとってどうだったと思うか

よかった	どちらともいえない	よくなかった	参加していない
7	0	0	3

【評価の理由】

よかった

- ・ 少しでも話せる人、積極的な人には面白い内容かと思います。
- ・ 言いたいことが言えるようになる。
- ・ フリーに話せたので、それぞれのレベルにあった話ができた。
- ・ 自分のことを話したいと思う人には良い。
- ・ 自分のことに置き換えて練習することで、日本語を話したいとか、話せるかもという自信になると思いました。
- ・ 学習者それぞれの好きな物を語る事が多かったので、笑顔も多く、言葉も沢山出す事が出来ていました。
- ・ 自由に話せる機会でもあり、学習者も楽しく学べた。

②トピック会話の活動方法は、今後のご自身の教室活動に活かそうか

はい	いいえ	参加していない
7	0	3

5. 本教室で使用した教材（「つながるにほんご」「ばめんのにほんご」）の普及について
(5-1)「つながるにほんご」と「ばめんのにほんご」を地域の日本語教室で活動する方に知ってもらい、活用してもらうためには、どんなことが必要だと思うか（複数回答）

広く受講者を募る	地域日本語教室に講師を派遣する	地域日本語教室から代表者 1～2 名集まってもらう	その他
7	4	5	2

【その他】

- ・ アシスタントに参加した人が他のボランティアに説明することで少しずつ広がると思います。「にほんご堺東」にもテキストが数冊あって時に活用しているようです。
- ・ 「さかい de にほんご」のテキストを有償で良いので広く学習者、指導者が手に入るよ

うにしてはと考えます。

6. 事業全体を通して意見や感想等

- とても良い事業だと思いますが、1人のボランティアが連続して活動に参加できるようにしてほしい。私の場合は2〜3週抜けることがあったので前回の復習をサポートしてほしいと言われても、できないことがあった。
- 後日フォローアップ研修があれば良いと思います。
- いつも思うことですが、自分が反対の立場（学習者）だったら・・・を考えて少しでもお手伝いできたらと参加しましたが、学習者さんの積極的な姿に脱帽です。
- この日本語教室を年に2回ぐらいするとよいと思う。
- 年に何回かできたら良いかも。ボランティアの質向上に必要と思います。
- 今年もお世話になりました。毎回緊張しながらの参加でしたが、楽しく活動させていただきました。来年もぜひよろしくお願いします。
- 参加する前は、不安と楽しみが混じっていましたが、沢山の人の出会えて、皆さんがとても良い人達で良かったです。自分にとって凄く良い勉強になりました。色々なことに挑戦しようと意欲も出てきました。ありがとうございました。
- 毎回とても有意義な時間を過ごすことが出来ました。先生のご指導がとても勉強になることもさることながら、他の地域の日本語教室の方たちとお話が出来る、それぞれの教室の様子や工夫などを聞くことが出来たのもとても良かったと思います。今回は短い日数しかお手伝い出来ませんでしたが、結局は自分のためになったと感じています。本当にありがとうございました。
- 今回で3年目の参加です。無事に卒業できました。大変お世話になりました。今後とも、充実した内容になるように願っています。有難う御座いました。